

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年3月10日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部国際日本学科
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2024年2月13日
明治大学卒業予定年月	2026年3月
留学先大学について	
留学先国	マレーシア
留学先大学	マラヤ大学(日本語名) Universiti Malaya(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	マレー語・英語・中国語/英語
留学期間	2023年9月～2024年2月
留学先大学で在籍した学年	年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 10 月～2 月 2 学期: 3 月～7 月 3 学期: 4 学期:
学生数	29892 人
創立年	1905 年

留学費用

留学費用項目	現地通貨 (1RM=約 31 円)	日本円	備考
授業料	706.5RM	21,901.5 円	Adiminidtaration fee 150ドル
宿舍費	2,344.7RM	77,717 円	寮1(学内):720RM(23,582 円) 寮2(学外):1,624.7RM(53,865 円)
食費		170,000 円	
図書費	0	0円	
学用品費	0	0円	
携帯・インターネット費	227RM	7,037 円	月40RM~50RM
現地交通費		円	大学までフリーシャトルバス(<input type="checkbox"/> 大学まで 徒歩・自転車)
教養娯楽費		200,000 円	主に国内外旅行費
被服費	348.8	10812 円	
医療費		78400 円	予防接種(狂犬病、A 型・B 型肝炎)
保険費	468RM	64,947 円	形態:明治海外旅行保険:50395 円(5 ヶ月) EMGS 保険:468RM(約 14,552 円)
渡航旅費		115,734 円	
ビザ申請費	723.71RM	22,659.8 円	Visa 申請費:620.71RM(=19302 円) Visa キャンセル費:103RM(=3357.8 円)
雑費		36,000 円	
その他		円	
その他		円	
合計		804,981 円	

渡航関連

渡航経路
往路 出発地: 羽田国際空港 目的地: クアラルンプール国際空港 経由地: チャンギ国際空港(シンガポール)
復路 出発地: クアラルンプール国際空港 目的地: 羽田国際空港 経由地:
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金:
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:シンガポール航空 料金:62610 円
復路 航空会社:エアアジア 料金:53124 円 ∴合計:115,734 円
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:)
<input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:往路→シンガポール航空サイト 復路→エアアジアサイト)
<input type="checkbox"/> その他()
滞在形態関連
1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎等)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:KK10・International House) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 KK10:2 人 International House:4 人)
3) 共有部分
<input type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
4) 住居を探した方法:
寮1:渡航前に、留学先の大学から住居に関する送られてくる google form から申し込む。 寮2:直接 office に行き、入居の希望を伝える。

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

ここでは大学の寮について学内、学外両方について記載します。

<学内の寮(KK10)>

私はマレーシアにいて 6 週間ほど学内の寮に暮らしていました。マラヤ大学には学内に 12 の寮があり、私が住んでいた KK10 は大学の中でも、奥の方にあります。4 つのブロックがあり、その中で一番きれいな BlockA に留学生が住んでいました。部屋は基本相部屋で、各部屋にはベッドと机、衣装棚があります。エアコンはなく、天井に大きなファンがありました。学内の寮の良い点は、大学内にあるため安全であり、近くに1食300円以下で食べられるカフェテリアがあるということです。また、同じブロックには留学生が住んでいるため、留学生の友達が作りやすいという利点があると思います。一方で、衛生面については、キレイとは言えず、特にトイレやキッチンなどの共有スペースは日本と比べると汚いです。また、大学の奥にあるため、大学外に出ることが難しく、最寄り駅までバスで20分弱かかるなどの不便な部分もありました。

<学外の寮(International House)>

International House は大学外にある留学生用の寮です。大学から徒歩で 30 分、車で 10 分程度のところにあり、大学にはシャトルバスを利用して行くことができます。部屋はリビングやキッチンなどの共有スペースと寝室が 2 つありました。私はもう一人の日本人と 2 人の中国人と 4 人で暮らしていました。大学や駅から離れているという点で不便さはありませんでしたが、近くにショッピングモールがあったり、収納や冷蔵庫など一人一人が使えるスペースが多かったため、引越してよかったと思います。また、近くには現地の人が住んでおり、毎週火曜日と木曜日には寮の近くで市場が開かれるため、現地の生活を体験できるという点でも良い寮でした。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: 保険提携先のクリニック)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

特に危険なことに巻き込まれることはありませんでしたが、大使館のメールからデモなどの情報を入手し、外出を控えるなどのことはしました。また、繁華街などの人が多い場所では荷物を体から離さない、夜は一人で歩かないなどの対策をしました。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学内や寮では無料の Wi-Fi が使えました。インターネット利用は月に 1200 円程度で無制限で使うことができます。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地で銀行口座は開設せず、wise というデビットカードを使いました。デビットカードとしてだけでなく、日本から入金してもらった分のお金は ATM で現金として引き出すこともできます。また、他のクレジットカードも持っていましたが、オンラインで支払いができないが多かったため、Wise のカードを持って行ってよかったと思います。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

日本の企業が多く進出していることもあり、基本劇に現地で調達できないものはありません。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
9単位	<input checked="" type="checkbox"/> 6単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Traditional Heritage of Southeast Asia	東南アジアの伝統遺産
科目設置学部・研究科	Faculty of Arts and Social Sciences, Department of Southeast Asian Studies
履修期間	Semester 1
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Dr. Hanafi Hussin
授業内容	東南アジアには数多くの伝統遺産があり、ほとんどが数世紀前に想像され、現在では多くが世界遺産に登録されている。この授業では、その東南アジアの伝統遺産について、その概念、影響力、継承における政策、その他の機関の役割について学習する。
試験・課題等	中間課題(Research Proposal・Presentation)、中間テスト(オンライン)期末課題(Journal article, presentation)、期末テスト(オンライン)
感想を自由記入	普段あまりなじみのない東南アジアの伝統遺産について知ることができ、多くの留学生が受講していたため、他の地域との比較などもできて履修してよかった。試験は個人だが、そのほかの課題は個人かグループで行うかを選択することができ、他国の学生ともグループワークができたため、有意義だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Performing Arts of Southeast Asia	東南アジアの舞台芸術
科目設置学部・研究科	Faculty of Arts and Social Sciences, Department of Southeast Asian Studies
履修期間	Semester 1
単位数	3
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Dr. Hanafi Hussin
授業内容	東南アジアで、舞台芸術の形成、発展は社会や経済、政治などの外部的要素が寄与しており、発展の過程で、舞台芸術は伝統的なものから、娯楽、教育など様々な分野に変化してきた。この授業では東南アジアの舞台芸術の概念、社会における機能性、遺産としての保護における機関の役割について学習する。
試験・課題等	中間課題(Research Proposal・Presentation)、中間テスト(オンライン)期末課題(Journal article, presentation)、期末テスト(オンライン)
感想を自由記入	東南アジアの舞台芸術について、実際に動画などを視聴しながら学習し、実際に舞台を見たいと思うような授業だった。Traditional Heritageと同じ教授であったため、内容も多少かぶる部分はあったが、課題の方法などは全く一緒だったため、受講しやすい部分もあった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Elementary Malay	初級マレー語
科目設置学部・研究科	Faculty of Languages and Linguistics, Department of Malaysian Languages and Applied Linguistics
履修期間	Semester 1
単位数	3
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	Mr. Ahmad Sabri bin Abdul Samat
授業内容	留学生向けの初級のマレー語の授業。
試験・課題等	毎週の課題、中間テスト、口頭テスト、個人課題、グループ課題
感想を自由記入	オンラインでの授業だった。1回の授業につき、2つほどのトピックについて説明され、それについての課題が毎回授業後に出された。難易度はあまり高くなく、受講したことで、簡単な単語などは理解できるようになった。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。
(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1月～3月	
	4月～7月	大学入学
	8月～9月	
	10月～12月	選考
留学開始年	1月～3月	留学決定
	4月～7月	出願、ビザ申請・取得
	8月～9月	航空券購入、予防接種、滞在先決定、渡航
	10月～12月	中間テスト
留学/帰国年	1月～3月	期末テスト、帰国
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

留学先の選択理由

私は東南アジアに留学したいという希望から、協定校の中から東南アジアの国を選択し、そして東南アジアの文化について学べる授業が多く開講されているマレーシアのマラヤ大学を留学先を選びました。1 学期間マレーシアに留学して、この選択は正しかったと思います。日本とは異なる多民族国家の国で様々な民族の人と交流することができ、有意義で楽しい留学だったと感じます。

留学生活について

日常生活：マレーシアはまさに今発展を遂げている国なので、インフラや公共交通機関の整備などは十分にされています。そのため、日常生活で特に困ることはないと思います。クアラルンプールの中心地に行くと、日本のブランドのお店があったり、ショッピングモールでも日本の製品を買うことができます。食べ物に関しても、私の場合辛い物が苦手だったので、マレー料理は合いませんでしたが、マレーシアには他にも中華料理やインド料理、韓国・日本料理などのレストランが数多くあります。自分とは合わない部分があるとそこからストレスを感じてしまうかもしれませんが、無理せずに自分に合うものを見つけていけばいいと思います。

人間関係：留学で友達ができるのか不安になるかもしれませんが、同じような不安を抱えている人は他にもたくさんいます。多くの留学生は目的をもって留学していて、いろいろな人と交流したいと考えていることが多いので、特に心配することはないと思います。ルームメイトや同じ授業を受けている人など、いろいろな場面で、新たな出会いがあります。自分から積極的に交流するといいと思います。一方で、知り合いになった後の距離のつめ方には少し配慮する必要があるかもしれません。人それぞれ抱えている背景が異なり、特に出身国や宗教などによって人との接し方が違うことがあります。私自身、この違いによって、人間関係でうまくいかないことがありました。最初の出会いは積極的に、その後は臨機応変に人間関係を築いていくのが良いと思います。

語学力：マレーシアでは英語が広く使われているため、公用語であるマレー語が分からなくても、生活することができます。そして、現地の人々が話す英語はなまりがあったり、正確でないこともあります。そのため、こちら側も正しい英語を使わないといけないというプレッシャーがなくなり、間違いを恐れずに英語を話せるという良い点があります。語学力は渡航後、生活の中で自然と伸びると思うので、特に心配する必要はないと思います。

私は、1 学期間マレーシアに留学して、様々な面で成長することができ、留学してよかったと感じています。留学中にいろいろと不安になったり、失敗してしまうこともありましたが、今ではそれが全て貴重な経験だったと感じます。少しでも興味がある方はぜひ留学に挑戦してみてください。新たな経験、成長が得られます。